

平成 30 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン在宅・地域医療実習

実習生：鬼塚浩徳

実習先：谷川放射線科胃腸科医院

安中外科・脳神経外科医院

奥平外科医院

藤瀬クリニック

実習期間：2018年11月5日（月）～11月16日（金）

実習生感想：

今回の在宅・地域医療実習で、4施設での実習を行いました。

① 谷川放射線科胃腸科医院

厚生ライフ鳴海台、コレクティブハウス琴の尾、ベタニア修道院、ショートステイ王樹、グループホーム夕陽が丘、春の家ながよ、居宅への訪問診療に同行させて頂きました。カルテは iPad を通して多職種間で共有され、血液検査などの必要な情報があれば電話一本で反映されるシステムが確立されていることに驚きました。処方に関しても、最寄りの薬局から配達されるため、重症患者には必須となりつつあるのかもしれませんが。放射線科医である自分の仕事は画像診断・IVR が中心であり、聴診器や血圧計での診察を新鮮に感じましたが、研修医時代を思い出しながら慎重に行いました。訪問診療の途中、呼吸困難感の訴えのある患者さんより連絡が入り、往診も見学させて頂くことができました。



② 安中外科・脳神経外科医院

グループホーム新地、みなとのみえるハウス、ぼ〜れば〜れ、居宅への訪問診療に同行させて頂きました。Tay-Sachs 病や脳性麻痺などの患者さんに専門性の高い医療を提供されていました。胃瘻交換などの手技も経験させて頂き、貴重な機会となりました。長崎は坂や階段が多く、駐車スペースに困る場合もありました。



③ 奥平外科医院

居宅への訪問診療が中心で、胃癌・食道癌などの悪性腫瘍や脳梗塞後遺症・肺炎など様々な疾患を持つ患者さんの診療を経験させて頂きました。気管チューブ交換や爪白癬を併発する患者さんの処置など多くの手技も見学させて頂きました。患者さん本人だけでなく、ご家族の体調にも配慮されている姿が印象に残りました。



④ 藤瀬クリニック

高血圧、脳梗塞後遺症、子宮頸癌・S状結腸癌などの他、**CHARGE** 症候群という難病の患者さんの診療を見学させて頂きました。患者さんと目の高さを合わせた上で、訴えに耳を傾け、投薬などの説明をわかりやすい言葉で説明されていました。患者さん一人一人の病状や生活、家族構成(サポート)などを把握し、人を診る重要性を改めて感じました。

<最後に>

医療環境が十分に整っていない状況で、患者さん一人一人の生活環境に入り、それぞれに合わせた医療を提供する必要がある在宅医療の難しさ、重要性を今回の実習で学ぶことができました。実習を快く受け入れて下さった先生方・スタッフの皆様に感謝の気持ちを込めて、ありがとうございました。



報告会にて